

お花見より僕は団子

リビングサービス課 中川 拓哉

もうじき春がやってきますね！ 春といえば入学式やお花見があげられると思います。今回はお花見について少し調べてみました。

お花見というと桜。桜が咲く季節が3月～4月だからお花見も自然とこの時期に行うわけですが、なぜ桜限定で「花見」と呼ぶのでしょうか？

実際、桜以外の花を見ることもしますが、梅なら「梅見」、菊なら「菊見」というようにその個別の花の名前を取って言いますね。しかし桜だけは「花見」なのです。

奈良時代（710年～794年ごろ）に中国から伝来した梅を鑑賞するお花見が起源とされ、平安時代（794年～1185年）に嵯峨天皇が梅の代わりに桜を愛でる「花宴の節（かえんのせち）」を行ったことで、花見の花が梅から桜に代わったといわれています。このころ、花見は貴族の楽しみ方で、万葉集や古今和歌集には桜を詠んだ歌が多く残されています。

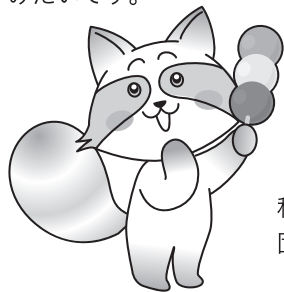
奈良時代の梅を見るお花見というのは、花の美しさを愛でるというよりも神事としての意味合いが強く、厄払いのために行っていたのであまり楽しいものではなかったようです。

平安時代の貴族は優雅に過ごすことを大切にしていたので、花見だからといってどんちゃん騒ぎをするのではなく、桜を愛でながら歌を詠んで楽しんだのです。

やがて鎌倉～室町時代になると、貴族の風習だった花見が武士の間でも行われるようになっていきました。

安土桃山時代になると、かの豊臣秀吉が1594年に「吉野の花見」という大規模なお花見が開催されました。これは1,000本の桜を植え、5,000人を召喚し、徳川家康、前田利家、伊達政宗などの有力な武将も招いてコスプレ祭りをするというバカ騒ぎで、庶民の耳にも行き届くほど盛大なものだったそうです。

花見の時期になると、桜の下での宴会で、皆さん盛り上がっていますよね！ 花見の宴会がなぜ盛り上がるかというと…桜の花粉には“エフェドリン”という興奮を誘発する物質が含まれているそうで、それが手助けしているのかもしれませんが。また、桜の香りには、不安な気持ちを取り除き、情緒を安定させる効果や、二日酔いになりにくい効果もあるそうです！ ただ、桜の花粉でもアレルギー症状（花粉症）を起こす人も稀にいるそうなので、注意が必要です。しかし、桜はスギやヒノキのような風媒花ではなく、虫媒花なので、花粉が付いた手などで、直接目や鼻などを触らなければ大丈夫みたいです。



※風媒花とは、風に乗って花粉を飛ばし、受粉する種類の植物で、そのため、花粉はとても軽く、呼吸によって人体に入りやすい。対して、虫媒花は、虫に花粉を運んでもらう植物なので、虫の体に花粉が付きやすいよう、ベタツとして重く、あまり遠くまで飛散することはない。人が呼吸で吸い込む事も少ないようです。

桜は華やかな開花期と見事な散り際の対比が最も際立つ花の一つだと思います。

私の家の近くにも桜の木があり毎年満開に咲く桜を見て楽しんでいます。個人的にはお花見より団子を食べる方が楽しく幸せになります。今年も食べすぎ注意で気をつけたいと思います。

参考資料 : <https://kamryusy.com/813.html> <http://zatugaku1128.com/hanamii/> <http://idea1616.com/haru-fubutsusi/>

2020アポロ祭 中止のお知らせとお詫び

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

かねてより開催に向けて準備を進めてまいりました「2020アポロ祭」ですが、このたび新型コロナウイルスの感染拡大防止、ご来場者様の安全と健康面を優先し、開催を中止させて頂く事となりました。

これに伴い、2020アポロ祭にて予定していたイベント及びイベント商品、アポロ新聞の応募券等も今回は全て中止無効とさせていただきます。どうかご了承下さい。

2020アポロ祭を楽しみにして頂いていたお客様には誠に申し訳ございませんが、なにとぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

アポロ興産株式会社 代表取締役社長 家喜 正治
社員一同

橋本の
つぶやき

SDGs、身近な問題かつ大きな目標ですね。この目標に向かって世界や日本、また個人がこれまで行動し、変化していくことができるのでしょうか？難しい問題です。

私の知り合いも以前ケニアにトリと道路をつくりに行くと言いき、数年間活動してから帰国しました。こういった話を聞くと意外と身近なものだと感じます。

お花見の季節がやってきましたねー！今も昔も日本人はやはり、お花見が大好きな人種です！花粉症さえなければこの季節は本当に良い気候で生命が満ち

溢れているよい季節ですねーしかしながら桜にも花粉があるんですねー！花粉に触れた時は気を付けなければなりませんねー！個人的にはいつも花見を忘れやは

り食べ物はばかりを眺めていますので、「私はお花見より団子と言いたいところですが今年こそお花見半分、お団子半分どちらも楽しみたいです笑」



これからのキーワードSDGs

代表取締役社長 家喜 正治

昨年頃からSDGsという言葉を目にする機会が私の身の回りに増えてきました。SDGsとは何なのでしょう。SDGs（エスディージーエスではなくエスディージーズと読むのが正解）は、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称となります。

2015年9月、国連サミットが開催されました。150を超える首脳が参加して、2030年を年限とする、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、新たな目標として全会一致で採択されたものがSDGsなのです。

では、肝心のSDGsの中身、「持続可能な開発目標」とは具体的にどのようなものなのでしょう。SDGsは「17の目標」と「169のターゲット（具体目標）」で構成されています。17の目標は以下の通りです。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 10. 人や国の不平等をなくそう |
| 2. 飢餓をゼロに | 11. 住み続けられるまちづくりを |
| 3. すべての人に健康と福祉を | 12. つくる責任つかう責任 |
| 4. 質の高い教育をみんなに | 13. 気候変動に具体的な対策を |
| 5. ジェンダー平等を実現しよう | 14. 海の豊かさを守ろう |
| 6. 安全な水とトイレを世界中に | 15. 陸の豊かさを守ろう |
| 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16. 平和と公正をすべての人に |
| 8. 働きがいも経済成長も | 17. パートナリーシップで目標を達成しよう |
| 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう | |

17の各目標に、それらを達成するために必要な具体目標が196設定されておりSDGsを構成していることとなります。ここでは紙面の関係で具体目標全てを紹介することは出来ませんが、日本ユニセフ協会のホームページでわかりやすく紹介されていますので、一度ご覧になって下さい。

最近スーツの襟元にカラフルな丸いバッジをつけている人をテレビ等で見かけますが、17の目標をイメージした17色からなるそれが、SDGsの活動をアピールするためのバッジなのです。（共同募金の赤い羽根のような…。）

少し大きな17の目標と感ずるかもしれませんが、具体的目標まで目を通すと、身近に感じる目標がいくつもあります。伊賀市の市街地には未だにくみ取り式トイレが多く残っていますし、また、ストローをプラスチックから紙製へ変える動きやレジ袋有料化もSDGs活動と関連しています。一見関係ないようなファッションショーのテーマにも「サステナブル（持続可能）」が使われるような時代になっているのです。化石燃料を主として扱っている当社としても避けて通れない目標がいくつもあります。

近年の災害多発日本列島を考えると、100年先の世代にこの地球環境を引き継ぐような重要活動こそが、SDGsといえるかもしれません。

参考：外務省HP <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>
日本ユニセフ協会HP <https://www.unicef.or.jp/sdgs/>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS